

ROHM MUSIC FESTIVAL

ロームミュージックフェスティバル
2023

Rohm Music
Foundation
ロームミュージックファンデーション



2023.4/22(土)・23(日)
ロームシアター京都

主催：公益財団法人 ロームミュージックファンデーション
共催：ローム株式会社
後援：京都府、京都市、ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)

ごあいさつ

この度はローム ミュージック フェスティバル2023にご来場いただき、誠にありがとうございます。

公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーションとローム株式会社は、音楽を通して豊かな文化を作ることを目的に様々な音楽文化支援活動を継続的に実施しています。

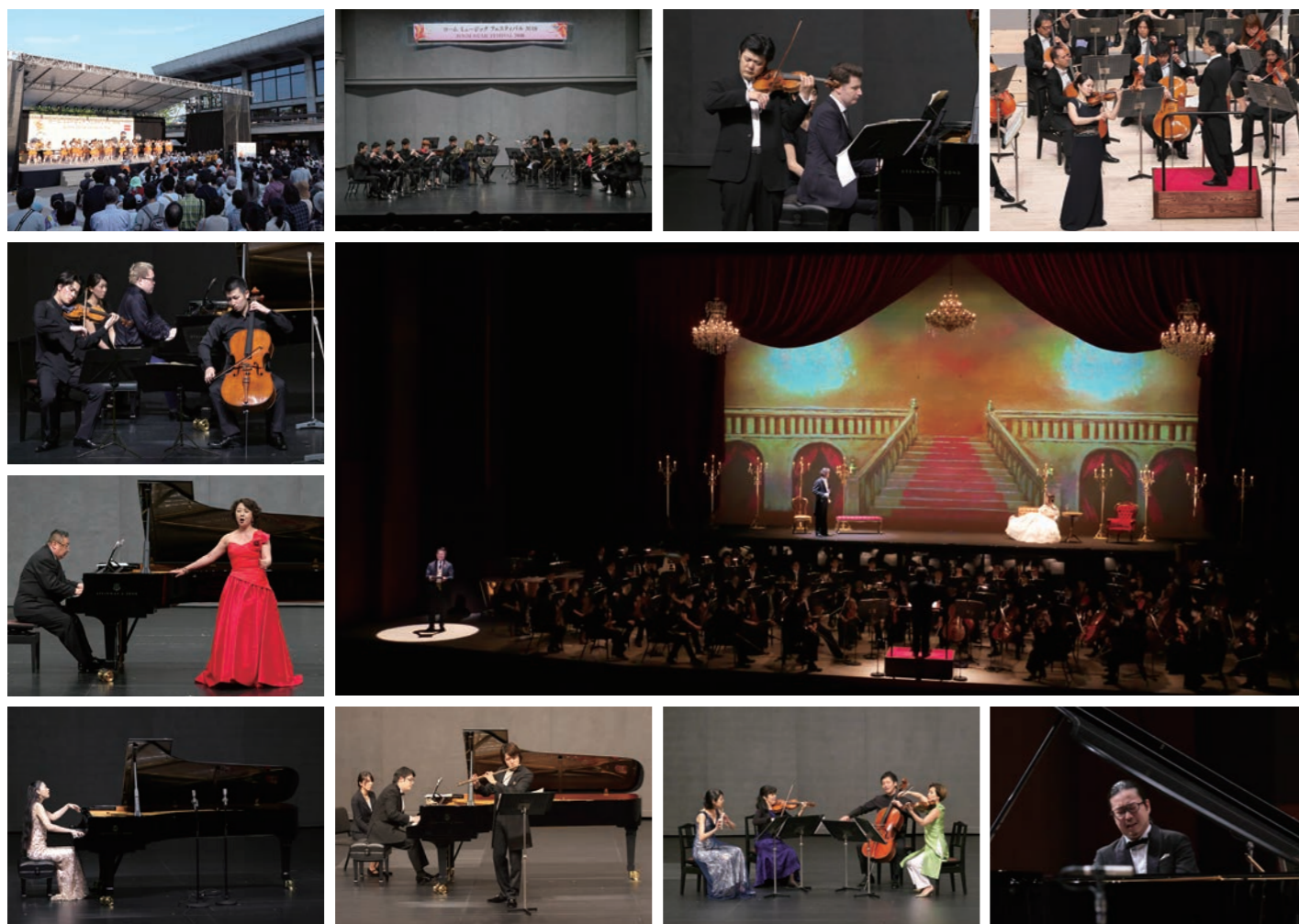
特に奨学援助や学ぶ機会を提供するセミナーなど、音楽を学ぶ若い人たちを支援する事業に力を入れてきました。

そしてこのような事業を通じて関わった音楽家「ローム ミュージック フレンズ」の皆様は国内外で活躍されています。

このフェスティバルでは「ローム ミュージック フレンズ」という繋がりが生み出す、豪華共演をお届けします。

素晴らしい音楽家たちによる音楽との出会いをぜひお楽しみください。

公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション
ローム株式会社



[過去のローム ミュージック フェスティバルより] ©佐々木卓男 ©大澤正

Schedule

4/22
[土]

12:15開演 | **ローム・スクエア**
ローム・スクエアコンサート 京都両洋高等学校 吹奏楽部

13:30開演
(12:45開場) | **サウスホール**
リレー コンサート A 12人のスペシャル・チェロ・アンサンブル

15:15開演 | **ローム・スクエア**
ローム・スクエアコンサート 滝川第二高等学校 吹奏楽部

16:30開演
(15:45開場) | **サウスホール**
リレー コンサート B Brassissimo! 燦爛たる金管アンサンブルの世界

19:00開演
(18:00開場) | **メインホール**
オーケストラ コンサート I オペラ・ハイライト「セビリャの理髪師」×「フィガロの結婚」

4/23
[日]

13:15開演 | **ローム・スクエア**
ローム・スクエアコンサート 宇治市立東宇治中学校 吹奏楽部

14:30開演
(13:45開場) | **サウスホール**
リレー コンサート C 2台ヴァイオリンとピアノによるダンス・ミュージックの世界

16:10開演 | **ローム・スクエア**
ローム・スクエアコンサート 箕面自由学園高等学校 吹奏楽部

17:00開演
(16:00開場) | **メインホール**
オーケストラ コンサート II 音楽物語「パール・ギュント」×チャイコフスキー交響曲 第5番

企画:公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション シニアプロデューサー:善積 俊夫
メインホール/サウスホール公演 構成:新井 鷗子 制作:株式会社1002 運営:otonowa
オンライン ライブ/アーカイブ配信:カーテンコール
ローム・スクエア制作:株式会社Ryu

ローム・スクエアコンサート(無料公演) ※天候によっては中止の場合がございます。

リレー コンサート A 12人のスペシャル・チェロ・アンサンブル

サウスホール **13:30開演** (15:00頃終演予定)

E.H. グリーグ (W.トーマス=ミフネ 編)／ホルベルク組曲 Op.40

E.H.Grieg(arr. W.Thomas-Mifune)/Suite “Aus Holbergs Zeit” für 6 Violoncelli Op.40

- I 前奏曲
- II サラバンド
- III ガヴォットとミュゼット
- IV アリア
- V リゴードン

G. フォーレ (W.カイザー =リンデマン 編)／パヴァーヌ Op.50

G.Fauré(arr. W.Kaiser-Lindemann)/Pavane Op.50

D. ポッパー／演奏会用ポロネーズ Op.14

D.Popper/Polonaise de Concert Op.14

～休憩～

J. シュトラウス II 世 (W.トーマス=ミフネ 編)／喜歌劇「こうもり」序曲

J.Strauss II(arr. W.Thomas-Mifune)/Overture zur Operette “Die Fledermaus” für 6 Violoncelli

N.A. リムスキー =コルサコフ (小林幸太郎 編)／交響組曲「シェヘラザード」より “若き王子と若き女王”

N.A.Rimsky-Korsakov(arr. K.Kobayashi)/“The Young Prince and the Young Princess” from «Scheherazade» Op.35

W. カイザー =リンデマン／12人のためのボサ・ノヴァ〈ブラジル風変奏曲〉Op.7b

W.Kaiser-Lindemann/〈Variações Brasileiras〉 Bossa nova filarmónica Op.7b für 12 Violoncelli

H. ヴィラ=ロボス／ブラジル風バツハ 第1番

H.Villa-Lobos/Bachianas Brasileiras No.1 for Orchestra of Violoncelli

- I エンボラーダ
- II モディーニャ
- III コンヴェルサ

全員

E.H.グリーグ(1843～1907)

ホルベルク組曲 Op.40／W.トーマス=ミフネ 編

エドヴァルド・グリーグはノルウェー南西海岸ベルゲンの出身。1884年、同郷の著名文学者ルトヴィ・ホルベア男爵(1684-1754)の生誕200年記念祭に際し、グリーグは男爵へのオマージュとして、男爵の生きた時代の組曲の形式を借りて本作を書いた。原曲はピアノ独奏版だが、グリーグ自身による弦楽合奏版も知られている。本日はそれをさらにチェロ・アンサンブル用に編曲した版で演奏される。

I.前奏曲： 細かい伴奏音型にのせて広がりのある主題が示される。

II.サラバンド： 16世紀スペイン起源といわれる緩やかで荘重な舞曲。

III.ガヴォットとミュゼット：14世紀フランスで流行った宮廷舞曲ガヴォットと、バグパイプを模したバスのドローン音型にのった舞曲ミュゼットが組み合わされている。

IV.アリア： ほの暗い情熱を秘めた主題による旋律的な楽章。

V.リゴードン： 急速な舞曲リゴードンで結ばれる。

G.フォーレ(1845～1924)

パヴァーヌ Op.50／W.カイザー=リンデマン 編

ガブリエル・フォーレが1886年にオーケストラ曲として書き上げ、翌年に合唱パートを追加した本作は「レクイエム」と並ぶ彼の中期の代表作。フォーレならではの高雅な詩情が漂う。パヴァーヌとは孔雀を意味するパヴォに由来すると、パドヴァ発祥ともいわれる優美な舞曲。

D.ポッパー(1843～1913)

演奏会用ポロネーズ Op.14

ダヴィット・ポッパーは19世紀後半から20世紀初頭にかけて活躍したチェコの名チェリスト。ヨーロッパ各都市で独奏者として大成功を収め、室内楽奏者としては、ブラームスの三重奏曲を作曲家本人と初演している。作品には4曲の協奏曲のほか、演奏会用小品が多数ある。本作はおそらく1880年以前に書かれた技巧的な小品で、二短調のポロネーズ主部と変ロ長調のトリオからなる。

J.シュトラウスII世(1825～1899)

喜歌劇「こうもり」序曲／W.トーマス=ミフネ 編

ヨハン・シュトラウスII世が1873年にわずか6週間で作曲し、翌年初演した「こうもり」は「ジプシー男爵」と並ぶ彼のオペレッタ代表作。かつての仮装舞踏会の帰途、こうもりの扮装のまま道に置き去りにされて群衆の笑いものとなったファルケ博士が、自分を置き去りにした友人に一矢報いるというストーリーを持つ。序曲は劇中のいくつかの旋律を集めて構成した、変化に富んだ名曲。

N.A.リムスキー=コルサコフ(1844～1908)

交響組曲「シェヘラザード」より “若き王子と若き女王”／小林幸太郎 編

1888年、ロシア5人組の一人、ニコライ・リムスキー=コルサコフは千夜一夜物語に材を取った交響組曲「シェヘラザード」を作曲した。妃の不貞を知って女性不信に陥り、夜伽の相手を毎朝殺害していたシャリアール王は、賢い娘シェヘラザードが夜ごと語ってくれる数奇な物語に慰められて心を開き、ついに彼女を妃に迎える。この物語を音楽化した組曲は4曲からなり、“若き王子と若き女王”はその第3曲。憂いを帯びた美しい旋律から始まり、後半は軽やかな舞曲風の音楽となる。

W.カイザー=リンデマン(1940～2010)

12人のためのボサ・ノヴァ〈ブラジル風変奏曲〉Op.7b

ドイツ各地のオーケストラでホルン奏者として活躍したヴィルヘルム・カイザー=リンデマンは1998年から作曲に専念し「ベルリン・フィルの12人のチェリストたち」のために多くの楽曲を提供した。2006年作曲の本作は、1950年代にブラジルに生まれた新音楽、ボサ・ノヴァ(新傾向)の主題による変奏曲。

H.ヴィラ=ロボス(1887～1959)

ブラジル風バツハ 第1番

パリ留学経験もあるブラジルの作曲家エイトール・ヴィラ=ロボスは1930～45年に9作の「ブラジル風バツハ」を書いた。それらはJ.S.バツハの様式を踏まえつつブラジル音楽の要素も採り入れた彼のオリジナルだ。8挺のチェロのための第1番はパブロ・カザルスに献呈された。

第1楽章(エンボラーダ)：特徴的な伴奏音型にのって低音部から南国的な主題が歌い出される。

第2楽章(モディーニャ)：重厚なアンダンテに始まり、感傷的なアダージョへと進んで自由に展開されたのち、アンダンテとアダージョが再帰する。

第3楽章(コンヴェルサ)：リズムカルな主題によるフーガ。

[萩谷 由喜子]

リレー コンサート B Brassissimo! 燦爛たる金管アンサンブルの世界

サウスホール 16:30開演(18:00頃終演予定)

伝承曲(E. ハワース 編)／アジンコート・ソング
Traditional(arr. E.Howarth)/Agincourt Song

三澤 慶／いにしへ輪舞
K.Misawa/INISHIE RONDO

A. ヴィヴァルディ(三澤 慶 編)／2つのトランペットのための協奏曲 ハ長調 RV.537より 第1楽章
A.Vivaldi(arr. K.Misawa)/1st movement from Concerto for 2 Trumpets in C Major RV.537

I アレグロ

A. フラッケンポール／ポップ組曲 第3番
A.Frackenpohl/Pop Suite No.3

I ビギン

II ワルツ・ソング

III スライド・ラグ

C. ヘイゼル／3匹の猫
C.Hazell/Three Brass Cats

I ミスター・ジャムス

II ブラック・サム

III バーリッジ

～休憩～

H. パーセル(E. ハワース 編)／トランペット・チューン・アンド・エアー
H.Purcell(arr. E.Howarth)/Trumpet Tune and Air

三澤 慶／花宴～朧月夜に似るものぞなき～
K.Misawa/HANANO EN ～ OBOROZUKIYONI NIRUMONONAKI ～

E. モリコーネ(宮西 純 編)／ガブリエルのオーボエ
E.Morricone(arr. J.Miyanishi)/Gabriel's Oboe

G. ラングフォード／ロンドンの小景
G.Langford/London Miniatures

I ロンドンの呼び声

II ソーホー

III グリーン・パーク

IV トラファルガー広場

V 戦没者記念碑

VI ホース・ガーズ・パレード

全員

今込 治／上田 智美／風早 宏隆(トロンボーン)
藤井 良太(バス・トロンボーン)

全員

全員

稲垣 路子／坂本 敦／三澤 慶(トランペット)
日橋 辰朗(ホルン)、上田 智美(ユーフォニアム)
風早 宏隆／藤井 良太(トロンボーン)
宮西 純(チューバ)
*ユーフォニアムパートは、トロンボーンで演奏します。

全員

伝承曲

アジンコート・ソング／ E. ハワース 編

アジンコート・ソングとは、1415年の英仏戦争中、フランス・ノルマンディ地方のアジャンクール(英語:アジンコート)城の攻防戦に際しイギリス軍の勝利を祈念して歌われた作者不詳の民謡。本日はフィリップ・ジョーンズ・プラス・アンサンブルのトランペット奏者、エルガー・ハワース(1935-)編曲の金管10重奏版で演奏される。

三澤 慶(1970～)

いにしへ輪舞

東京室内管弦楽団のトランペット奏者、三澤慶は作・編曲家としても活躍する。彼がルネサンス時代の舞曲を素材として、直管楽器群によるカルテットと、円錐楽器群によるカルテットの2つの四重奏グループ用に書き上げた金管8重奏のための舞曲が本作である。

A. ヴィヴァルディ(1678～1741)

2つのトランペットのための協奏曲 ハ長調 RV.537より

第1楽章／三澤 慶 編

ヴェネツィアの司祭アントニオ・ヴィヴァルディは教会附属養育施設の音楽教師を務める傍ら、各種楽器のための協奏曲を中心に膨大な作品を生んだ。2つのトランペットのための協奏曲ハ長調は、主和音下行で始まるアレグロの第1楽章、わずか6小節のシンプルな楽想がラルゴのテンポで歌われるニ短調の第2楽章、主和音上行で始まるアレグロの第3楽章からなる。

A. フラッケンポール(1924～2019)

ポップ組曲 第3番

アーサー・ローランド・フラッケンポールはニュージャージー生まれ。タングルウッドでダリウス・ミヨーに師事したのち、渡仏してナディア・ブーランジェに学んだ。帰国後、音楽教育に貢献しながら250曲以上の楽曲を作曲。ことに金管楽器アンサンブルのために優れた作品を数多く提供したことで知られる。1970年頃に出版された本作は4本のトロンボーンのために書かれた組曲で、以下の3つの舞曲楽章から構成されている。

第1楽章: ビギン(Beguine)。フランス領マルティニクのダンス音楽。
第2楽章: ワルツ・ソング(Waltz song)。感傷的なワルツ。
第3楽章: スライド・ラグ(Slide rag)。4本のトロンボーンのスライド操作をずらすことで生まれるラグタイムのリズムによるフィナーレ。

C. ヘイゼル(1948～)

3匹の猫

イギリスのレコード・プロデューサー・作曲家のクリス・ヘイゼルは自身の飼い猫を題材とした一連の金管10重奏曲を書いてきた。その最初の3作がフィリップ・ジョーンズ・プラス・アンサンブルの委嘱による『Three Brass Cats 3匹の猫』である。ミスター・ジャムス(Mr. Jums)、ブラック・サム(Black Sam)、バーリッジ(Borage)の3匹が順に描かれる。

H. パーセル(1659～1695)

トランペット・チューン・アンド・エアー／ E. ハワース 編

ウェストミンスター寺院のオルガニストとして名声を博したヘンリー・パーセルはバロック期イングランドを代表する作曲家。36年という短い生涯に400曲以上の楽曲を遺した。華やかで祝典的な本作はTV-CMにもしばしば使われているお馴染みの名曲。編曲者E. ハワースについては前掲。

三澤 慶(1970～)

花宴～朧月夜に似るものぞなき～

本作はトランペット奏者で作曲家の三澤慶が紫式部の「源氏物語」第8帖「花宴」に材を取って書いた金管8重奏曲。「花宴」に登場する朧月夜という女性は、光源氏の異母兄・朱雀帝の女御として入内するはずであったが、光源氏と激しい恋に落ちる。本作では、光源氏と朧月夜の甘い愛の歌のやり取りをトランペットが表現する。

E. モリコーネ(1928～2020)

ガブリエルのオーボエ／宮西 純 編

オリジナルはイタリア音楽界の巨匠エンニオ・モリコーネが1986年のイギリス映画「ミッション(The Mission)」のために書いたオーボエ楽曲。作中で主人公のガブリエル神父が演奏する。気鋭のチューバ奏者、宮西純はこれをチューバ+金管9重奏用に編曲した。

G. ラングフォード(1930～2017)

ロンドンの小景

ゴードン・ラングフォードは英国式ブラスバンドのための作品で知られるイングランドの作曲家。本作は1985年にフィリップ・ジョーンズ・プラス・アンサンブルの結成30周年を祝って作曲された金管10重奏のためのオリジナル作品。

第1楽章: ロンドンの呼び声
第2楽章: ソーホー
第3楽章: グリーン・パーク
第4楽章: トラファルガー広場
第5楽章: 戦没者記念碑
第6楽章: ホース・ガーズ・パレード

[萩谷 由喜子]

※プログラム中の曲目表記については、使用楽譜に準じて記載しております。

オーケストラ コンサート I オペラ・ハイライト「セビリャの理髪師」×「フィガロの結婚」

メインホール 19:00開演 (21:00頃終演予定)

G.ロッシーニ／歌劇「セビリャの理髪師」
G.Rossini/Opera 《Il Barbiere di Siviglia》

私は町の何でも屋
Largo al factotum della città

又吉 秀樹(バリトン/フィガロ)

あの不思議にして万能の
All' idea di quel metallo

高島 伸吾(テノール/アルマヴィーヴァ伯爵)
又吉 秀樹(バリトン/フィガロ)

今の歌声は
Una voce poco fa

富岡 明子(メゾ・ソプラノ/ロジーナ)

私のような医者に向かって
A un dottor della mia sorte

近藤 圭(バリトン/バルトロ)

嵐の音楽
Temporale

ああなんと意外な展開でしょう
Ah! Qual colpo inaspettato!

富岡 明子(メゾ・ソプラノ/ロジーナ)
高島 伸吾(テノール/アルマヴィーヴァ伯爵)

ああなんと意外な展開でしょう
Ah! Qual colpo inaspettato!

富岡 明子(メゾ・ソプラノ/ロジーナ)
高島 伸吾(テノール/アルマヴィーヴァ伯爵)
又吉 秀樹(バリトン/フィガロ)

W.A. モーツァルト／歌劇「フィガロの結婚」序曲
W.A.Mozart/Opera 《Le Nozze di Figaro》Overture

～休憩～

～休憩～

W.A. モーツァルト／歌劇「フィガロの結婚」
W.A.Mozart/Opera 《Le Nozze di Figaro》

奥様がお呼びのときには
Se a caso madama

高橋 維(ソプラノ/スザンナ)
木村 善明(バス・バリトン/フィガロ)

もう飛ぶまいぞこの蝶々
Non più andrai, farfallone amoroso

木村 善明(バス・バリトン/フィガロ)

愛の神様 慰めの手を
Porgi, amor, qualche ristoro

鷲尾 麻衣(ソプラノ/伯爵夫人)

ひどいぞ どうして私をじらせたんだ
Crudel! Perché finora farmi languir così?

高橋 維(ソプラノ/スザンナ)
青山 貴(バリトン/アルマヴィーヴァ伯爵)

もう判決は決まっただと
Hai già vinta la causa!

青山 貴(バリトン/アルマヴィーヴァ伯爵)

なんとやわらかなそよ風が
Che soave zeffiretto

高橋 維(ソプラノ/スザンナ)
鷲尾 麻衣(ソプラノ/伯爵夫人)

恋人よ、早くここへ
Deh vieni non tardar

高橋 維(ソプラノ/スザンナ)

妻よ、許してくれ
Contessa perdono

全員

妻よ、許してくれ
Contessa perdono

全員

妻よ、許してくれ
Contessa perdono

全員

垣内 悠希(指揮)
朝岡 聡(ナビゲーター)

＊歌劇「セビリャの理髪師」・歌劇「フィガロの結婚」制作
田尾下 哲(演出) 新井 鷗子(構成・台本) 松生 紘子(舞台装置)

京都市交響楽団(管弦楽)／コンサートマスター:泉原 隆志

大東 万里子(衣裳) 株式会社丸善・石川 陽子(ヘアメイク)

株式会社アート・ステージライティング・グループ:稲葉 直人(照明)

井清 俊博(舞台監督)

G.ロッシーニ(1792～1868)
歌劇「セビリャの理髪師」

1816年2月に初演されたジョアッキーノ・ロッシーニのオペラ「セビリャの理髪師」はフランスの劇作家カロン・ド・ボーマルシェ(1732～1799)の戯曲を原作とする。先輩ジョヴァンニ・パイジェッロ(1740～1816)のほうが先にこれをオペラ化していたためパイジェッロ支持者の妨害も受けたが、ロッシーニの本作は聴衆の心を掴み、これが彼の出世作となった。

舞台はスペインのセビリャ。青年貴族アルマヴィーヴァ伯爵は、医師の伯父バルトロの後見を受けている乙女ロジーナをみそめ、学生リンドーロに変装して彼女の窓の下で求愛のセレナードを歌う。次いで理髪師フィガロ登場、自己紹介の Aria を歌う。伯爵はフィガロの知恵を借りることにする。ロジーナもリンドーロに心を奪われ窓から手紙を投げ落とすが、ロジーナとの結婚を目論むバルトロは彼女の行動に干渉し、結婚手続きを進めようとする。そこへ、士官に化けた伯爵が現れ「屋敷を軍隊の宿舎に提供せよ」との偽の命令書をバルトロに突き付ける。怒り狂うバルトロ。ついに警官隊が駆けつける騒ぎとなる。

次に伯爵は音楽教師助手に化けてバルトロ邸を訪れる。ロジーナは彼がリンドーロであることを見抜いて喜んでレッスンを受ける。バルトロが怪しむと、フィガロが強引に押さえつけて髭を剃る。その間に若い二人は駆け落ちの相談をする。ところが、音楽教師助手がリンドーロであることを見破ったバルトロがロジーナに「リンドーロはアルマヴィーヴァ伯爵におまえを売り渡そうとしているのだ」というのでロジーナは絶望し、バルトロとの結婚を承諾してしまう。だが、最後にリンドーロこそ伯爵であることがわかって、ロジーナと伯爵はめでたく結婚に漕ぎつける。

フィガロの「私は町の何でも屋」、伯爵、フィガロの二重唱「あの不思議にして万能の」、ロジーナの「今の歌声は」、バルトロの「私のような医者に向かって」、伯爵、フィガロ、ロジーナの三重唱「ああなんと意外な展開でしょう」などが聴きどころ。

W.A. モーツァルト(1756～1791)
歌劇「フィガロの結婚」

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルトのオペラ「フィガロの結婚」はロッシーニの「セビリャの理髪師」よりも30年早い1786年5月にウィーンで初演されているが、これもボーマルシェの戯曲が原作で、内容的には「セビリャの理髪師」の続編にあたる。前作でセビリャの町の理髪師だったフィガロはアルマヴィーヴァ伯爵の恋を取り持った功により、今では伯爵の召使いに取り立てられている。フィガロは伯爵家の小間使いスザンナと恋仲で、結婚式目前だ。ところが、浮気者の伯爵はスザンナに目をつけ、領主の特権「初夜権」を行使しようと企んでいる。それを知ったフィガロは何とか阻止しようとする。伯爵夫人のロジーナは、かつてあれほど愛し合った夫の心が自分から離れたのを悲しんでいる。しかも、小姓のケルビーノから一方的に思いを寄せられたことで、夫からあらぬ疑いを受けてしまう。ケルビーノは怒った伯爵から軍隊行きを命じられる。フィガロは「軍隊に入れられてしまえばもう蝶々のように飛び回れないぞ」と彼をからかう一方、伯爵夫人の窮地を救おうと、あの手この手で伯爵を丸め込もうとする。スザンナも伯爵夫人に協力し、夫人と相談しながら、伯爵をおびきだして浮気の証拠とするための逢引の手紙を書く。だが、フィガロはそれをスザンナの裏切りだと誤解して憤慨する。しかし最後は、フィガロ、スザンナ、伯爵夫人の作戦がうまくいき、伯爵は自分の浮気心を悔い改めて夫人に心から詫び、夫人も夫を許し、フィガロとスザンナのカップルもめでたく結ばれる。身分の下の者やか弱い女性が貴族階級の男性を懲らしめるというこのオペラは新興庶民階級の広範な支持を獲得した。

スザンナとフィガロの二重唱「奥様がお呼びのときには」、フィガロがケルビーノを揶揄する「もう飛ぶまいぞこの蝶々」、伯爵夫人の嘆きの Aria 「愛の神様 慰めの手を」、スザンナと伯爵の二重唱「ひどいぞ どうして私をじらせたんだ」、伯爵の「もう判決は決まっただと」、スザンナと伯爵夫人の二重唱「なんとやわらかなそよ風が」、スザンナがフィガロを待つ Aria 「恋人よ、早くここへ」、大団円の伯爵を中心とした声楽アンサンブル「妻よ、許してくれ」などが聴きどころ。

〔萩谷 由喜子〕

リレー コンサート C

2台ヴァイオリンとピアノによるダンス・ミュージックの世界

サウスホール 14:30開演 (16:00頃終演予定)

L.アンダーソン (山田武彦 編)／ 舞踏会の美女 L.Anderson(arr. T.Yamada)/Belle of the Ball	神谷 未穂 (ヴァイオリン) 磯 絵里子 (ヴァイオリン) 岡田 奏 (ピアノ)
F.D.マルケッティ (丸山和範 編)／ 魅惑のワルツ ～映画「昼下がりの情事」より～ F.D.Marchetti(arr. K.Maruyama)/Fascination from “Love in the Afternoon”	
<あなたが選ぶプログラム・リクエストコーナー! > ① F.ロウ (山田武彦 編)／ 踊りあかそう ～ミュージカル「マイ・フェア・レディ」より～ F.Loewe(arr. T.Yamada)/I Could Have Danced All Night from “My Fair Lady”	
② J.オッフエンバック (玉木宏樹 編)／ ホフマンの舟歌 ～映画「ライフ・イズ・ビューティフル」より～ J.Offenbach(arr. H.Tamaki)/Barcarolle d’Hoffmann from “Life Is Beautiful”	
③ J.ガーデ (山田武彦 編)／ タンゴ「ジェラシー」～映画「シンドラーのリスト」より～ J.Gade(arr. T.Yamada)/Tango «Jalousie» from “Schindler’s List”	

W.A.モーツァルト (玉木宏樹～デュオ・プリマ 編)／ トルコ行進曲 W.A.Mozart(arr. H.Tamaki, Duo Prima)/Turkischer Marsch	磯 絵里子 (ヴァイオリン) 神谷 未穂 (ヴァイオリン)
D.D.ショスタコーヴィチ (L.アトヴミヤーン 編)／ 5つの小品 D.D.Shostakovich(arr. L.Atovmyan)/5 Pieces for 2 Violins and Piano	神谷 未穂 (ヴァイオリン) 磯 絵里子 (ヴァイオリン) 岡田 奏 (ピアノ)
I プレリユード	
II ガヴョット	
III エレジー	
IV ワルツ	
V ボルカ	

～休憩～

G.P.テレマン ／ ガリバー組曲 G.P.Telemann/Suite Gulliver	磯 絵里子 (ヴァイオリン) 神谷 未穂 (ヴァイオリン)
I 前奏曲	
II リリパット人のシャコンヌ	
III プロプディンナグの巨人のジーク	
IV ラビユタ島の住民たちの空想と目を覚まさせる下僕たち	
V 礼儀正しいフウイヌム人のルールと野人ヤフーの野蛮な踊り	

B.バルトーク (啼鵬 編)／ ルーマニア民俗舞曲 B.Bartók(arr. TE HO)/Rumanian Folk Dances	神谷 未穂 (ヴァイオリン) 磯 絵里子 (ヴァイオリン) 岡田 奏 (ピアノ)
第1曲 ジョク・ク・パータ(杖を用いた踊り)	
第2曲 ブラウル(飾り帯をつけた踊り)	
第3曲 ベ・ロック(足踏み踊り)	
第4曲 ブチュメアーナ(ブチュムの踊り)	
第5曲 ポアルガ・ロマネアスカ(ルーマニアのボルカ)	
第6曲 マヌンツェル(急速な踊り)	

A.ピアソラ (啼鵬～磯 絵里子 編)／ オブリビオン A.Piazzolla(arr. TE HO, E.Iso)/Oblivion	
--	--

M.d.ファリャ (寺嶋陸也 編)／ 火祭りの踊り ～バレエ音楽「恋は魔術師」より～ M.d.Falla(arr. R.Terashima)/Danza Ritual del Fuego from Ballt music (El Amor Brujo)	磯 絵里子 (ヴァイオリン) 神谷 未穂 (ヴァイオリン) 岡田 奏 (ピアノ)
---	---

V.モンティ (山本祐ノ介 編)／ チャールダーシュ (ヴァイオリニスト2人によるバトル演奏) V.Monti(arr. Y.Yamamoto)/Csárdás	
---	--

L.アンダーソン (1908～1975) 舞踏会の美女 ／山田武彦 編	G.P.テレマン (1681～1767) ガリバー組曲
ルロイ・アンダーソンはウィットに富んだオーケストラ小品を数多く書いたアメリカの作曲家。「舞踏会の美女」は韻を踏んだタイトル「Belle of the Ball」を持つおしゃれなワルツ。	ゲオルグ・フィリップ・テレマンのこのヴァイオリン二重奏曲は、シャコンヌ、ジーク、目覚めの音楽の各楽章に「ガリバー旅行記」の訪問国の名が冠されている。

F.D.マルケッティ (1876～1940) 魅惑のワルツ ～映画「昼下がりの情事」より～ ／丸山和範 編	I 前奏曲
1957年公開のアメリカ映画「昼下がりの情事」の挿入曲。作詞作曲はフェルモ・ダンテ・マルケッティ。器楽曲としても様々な編曲版がある。	II リリパット人のシャコンヌ
	III プロプディンナグの巨人のジーク
	IV ラビユタ島の住民たちの空想と目を覚まさせる下僕たち
	V 礼儀正しいフウイヌム人のルールと野人ヤフーの野蛮な踊り

F.ロウ (1901～1988) 踊りあかそう ～ミュージカル「マイ・フェア・レディ」より～ ／山田武彦 編	B.バルトーク (1881～1945) ルーマニア民俗舞曲 ／啼鵬 編
1964年のミュージカル映画「マイ・フェア・レディ」の挿入歌。作曲のフレデリック・ロウはアメリカ映画音楽界の巨匠。ヘプバーン演じる主人公イライザの昂揚した気分が表現される。	現ルーマニア領のハンガリー東部に生まれたベーラ・バルトークは国内の多くの民謡を採譜し、それらをもとに1915年に「ルーマニア民俗舞曲」を書き上げた。全体は、I. ジョク・ク・パータ(杖を用いた踊り)、II. ブラウル(飾り帯をつけた踊り)、III. ベ・ロック(足踏み踊り)、IV. ブチュメアーナ(ブチュムの踊り)、V. ポアルガ・ロマネアスカ(ルーマニアのボルカ)、VI. マヌンツェル(急速な踊り)の6曲からなる。

J.オッフエンバック (1819～1880) ホフマンの舟歌 ～映画「ライフ・イズ・ビューティフル」より ／玉木宏樹 編	A.ピアソラ (1921～1992) オブリビオン ／啼鵬～磯絵里子 編
ジャック・オッフエンバックは第2帝政時代のパリで活躍したオペレッタ作曲家。「ホフマンの舟歌」はドイツの作家E.T.A. ホフマン(1776～1822)の3つの短編をつないだオペラ「ホフマン物語」の第3幕、ヴェネツィアの娼婦ジュリエッタの場面で奏される。	アルゼンチン生まれのアストル・ピアソラはパリ留学から帰国後、独自のタンゴを次々と発表してタンゴの革命児と呼ばれた。本作はイタリア映画「エンリコ4世」の挿入歌として作曲された。

J.ガーデ (1879～1963) タンゴ「ジェラシー」～映画「シンドラーのリスト」より～ ／山田武彦 編	M.d.ファリャ (1876～1946) 火祭りの踊り ～バレエ音楽「恋は魔術師」より～ ／寺嶋陸也 編
デンマークのヴァイオリニスト、ヤコブ・ガーデが作曲し1925年に初演した本作は、アルフレッド・ハウゼ楽団のレパートリーとしてお馴染み。	マニュエル・ド・ファリャのバレエ「恋は魔術師」はフラメンコ舞踊家パストーラ・インペリオの依頼によって書かれ、1915年に初演された。美貌の女性カンデラスは嫉妬深い亡夫の幽霊の裏をかいて恋人と結ばれる。第8曲の〈火祭りの踊り〉はことに有名。

W.A.モーツァルト (1756～1791) トルコ行進曲 ／玉木宏樹～デュオ・プリマ 編	V.モンティ (1868～1922) チャールダーシュ (ヴァイオリニスト2人によるバトル演奏)／山本祐ノ介 編
ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルトが1783年頃に書いたピアノ・ソナタ第11番イ長調K.331の第3楽章は、当時のウィーンのとルコ趣味を反映してトルコの軍楽隊風の行進曲となっている。	原曲はナポリ生まれのヴィットリオ・モンティのマンドリン独奏曲。チャールダッシュとは「酒場風」を意味するハンガリーの民族舞曲。緩部分と急部分からなる。

D.D.ショスタコーヴィチ (1906～1975) 5つの小品 ／L.アトヴミヤーン 編	[萩谷 由喜子]
ドミトリー・ドミトリエヴィチ・ショスタコーヴィチのバレエ音楽と映画音楽から5曲を選び、友人であるレヴオン・アトヴミヤーン(1901～1973)が2挺のヴァイオリンとピアノのために編曲した。	
I. プレリユードは映画音楽「馬あぶ」が出典。崇高そうな主題に始まるが発展はなく、主題が繰り返されるだけの皮肉音楽。II. ガヴョットはバレエ「人間喜劇」を出典とする軽快な舞曲。III. エレジーもバレエ「人間喜劇」の第3組曲の第4曲。IV. ワルツは映画音楽「司祭とその下男バルダの物語」のワルツが出典。V. ボルカはバレエ「明るい小川」の中の1曲。このバレエ音楽を書いたことでショスタコーヴィチはシベリア送りを免れた。	

オーケストラ コンサート II

音楽物語「ペール・ギュント」×チャイコフスキー交響曲 第5番

メインホール 17:00開演 (19:00頃終演予定)

E.H.グリーグ／音楽物語「ペール・ギュント」(組曲版)

E.H.Grieg/Music story “Peer Gynt” Suite

台本:新井鷗子の音楽劇台本シリーズ「おはなシクラシック①」(アルテスパブリッシング出版)より

佐々木 蔵之介(語り)

E.H.グリーグ(1843～1907)

音楽物語「ペール・ギュント」(組曲版)

台本:新井鷗子の音楽劇台本シリーズ「おはなシクラシック①」(アルテスパブリッシング出版)より

ノルウェーのエドヴァルド・グリーグは母国の自然主義作家イブセン(1828～1906)の依頼により、イブセンの戯曲「ペール・ギュント」の付随音楽を1874～75年に書きあげた。現在ではグリーグ自身が編作した2つの組曲がしばしば演奏されている。本日はその組曲版を用いながら、劇のストーリーに沿った曲順で進められる。

主人公ペール・ギュントは、夢を追いかけてばかりいるほら吹き男。かつての恋人イングリッドが別の男と結婚するというので、結婚式に乗り込んでイングリッドを略奪する。しかし、すぐにイングリッドに飽きて彼女を捨ててしまう。(花嫁の略奪とイングリッドの嘆き)。

山奥へ逃げたペールは山の魔王の宮殿に迷い込み、魔王の娘と結婚させられそうになる。逃げだした彼は魔王の手下たちに追われる。(山の魔王の宮殿にて)。

故郷に帰ったペールは清純な娘ソルヴェイグと静かに暮らそうとする。だが、魔王の娘が現れて邪魔をする。やむなく一人で旅に出たペールは、旅先で母オーゼの危篤の知らせを受け故郷に帰る。母はペールのほら話を満足そうに聞きながら亡くなった。(オーゼの死)。

新たな冒険の旅に出たペールはモロッコの海岸で清々しい朝を迎える。(朝の気分)。

奴隷売買で大もうけたペールは金を懐に故郷に帰る途中、ペドウィン族と出会い酋長の娘アニトラに誘惑され、金を巻き上げられてしまう。(アラビアの踊り、アニトラの踊り)。

エジプトの精神病院で皇帝として持て囃されたのち、また旅に出た彼は金の鉞脈を掘り当て、今度こそ大金を持って故郷へ帰れると思いきや、船が難破して一文無しに。(ペール・ギュントの帰郷)。

着のみ着のまま辿りついた故郷では、老いて失明したソルヴェイグが彼の帰りを待ち続けていた。彼はソルヴェイグの膝を枕に安らかに死んでいく。(ソルヴェイグの歌)。

P.I.チャイコフスキー(1840～1893)

交響曲 第5番 ホ短調 Op.64

1877年に交響曲第4番を書きあげたあと、ピョートル・イリイチ・チャイコフスキーはヨーロッパ各地に長期旅行を繰り返しながら、ヴァイオリン協奏曲、『イタリア奇想曲』、弦楽セレナードなどの傑作を発表していった。1888年春、ヨーロッパから帰国した彼はフロロスコエ村の新居に落ち着き、心機一転、11年ぶりの交響曲に着手する。同地の緑ゆたかな環境の中で8月26日にこの交響曲第5番が完成した。曲は同年11月17日、ペテルブルクで彼自身の指揮によって初演されたが、批評家から好意的な批評を得ることはできなかった。彼自身、パトロネスのフォン・メック夫人に「この曲には拵えもののような不誠実さがあります」と書いているように、周到すぎる設計が批評家からは作為的と受け取られたようである。しかし、聴衆の反響は悪くはなく、その後の再演でも人気を呼ぶようになって今日では第4番、第6番と並んでしばしば取り上げられている。

第1楽章:序奏はアンダンテ、ホ短調、4/4拍子。主部はアレグロ・コン・アニマ、6/8拍子。冒頭から、曲全体を特徴づける暗い運命の主題をクラリネットが示す。主部では3つの主題が絡み、激しい闘争の様相を呈する。

第2楽章:アンダンテ・カンタービレ・コン・アルクーナ・リツェンツァ、ニ長調、12/8拍子。ホルンが甘美な旋律を歌い出し、次いでオーボエから憧憬に満ちた副主題が歌われる。だが中間部の頂点で運命の主題が立ちほだかる。

第3楽章:アレグロ・モデラート、イ長調、3/4拍子、ワルツ。暗い運命の連鎖の中でのしばしの憩いのひと時。最後に運命の主題の影がよぎる。

第4楽章:アンダンテ・マエストーソ、ホ長調、4/4拍子ーアレグロ・ヴィヴァーチェ、ホ短調、2/2拍子。ロンド・ソナタ形式。長調の序奏から始まり主部で同主短調に転じる。劇的な展開の頂点で曲が終わったかのように全休止が置かれる。次いで第1楽章の第1主題が長調化されて高らかに歌いだされ、最後は勝利を謳歌しつつ輝かしく全曲を結ぶ。

[萩谷 由喜子]

～休憩～

P.I.チャイコフスキー／交響曲 第5番 ホ短調 Op.64

P.I.Tchaikovsky/Symphony No.5 in E Minor Op.64

I アンダンテ－アレグロ・コン・アニマ

II アンダンテ・カンタービレ・コン・アルクーナ・リツェンツァ

III アレグロ・モデラート

IV アンダンテ・マエストーソ－アレグロ・ヴィヴァーチェ

垣内 悠希(指揮)

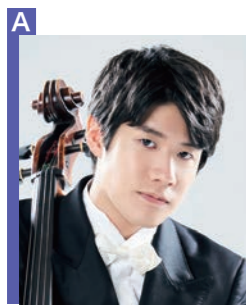
朝岡 聡(ナビゲーター)

京都市交響楽団(管弦楽)／コンサートマスター:泉原 隆志



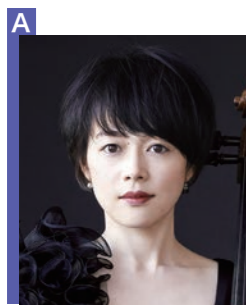
辻本 玲(チェロ) Rei Tsujimoto
2007、2008、2009、2010年度奨学生
東京藝術大学音楽学部器楽科を首席で卒業。その後シベリウス・アカデミー、ベルン芸術大学に留学。第72回日本音楽コンクール第2位。2009年ガスパール・カサド国際チェロ・コンクール第3位入賞(日本人最高位)。2011年に東京サントリーホール他5大都市でデビュー・リサイタルを開催。2013年齋藤秀雄メモリアル基金賞を受賞。2019年CD『オブリヴィオン』をリリース(「レコード芸術」誌特選盤)。クアルテット・エクスプローチェなど室内楽でも活動。現在、NHK交響楽団首席チェロ奏者。使用楽器はNPO法人イエロー・エンジェルより1730年製作のアントニオ・ストラディヴァリウスを、弓は匿名のコルクターよりTourteを特別に貸与されている。
公式サイト <https://www.rei-tsujimoto.com>

©KING RECORDS



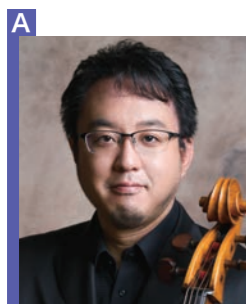
伊藤 悠貴(チェロ) Yuki Ito
2010、2011、2012年度奨学生
15歳で渡英。英国王立音楽大学在学中、ブラームス国際コンクール、ウィンザー祝祭国際弦楽コンクールに優勝し、名門フィルハーモニア管弦楽団との共演でデビュー。これまでに国内外の主要オーケストラと共演を重ね、ロンドンのウィグモア・ホールをはじめとする世界各地でのリサイタルを通して、生涯の研究対象であるラフマニノフ作品、イギリス音楽作品の普及に献身。小澤征爾氏のために行われた特別演奏会での独奏や、V.アシュケナーズ、J.ロイド・ウェバー、J.デ・メイ、X.ドゥ・メストレ、S.ザハロワなどの多分野にわたる世界的アーティストとの共演も数多い。2019年齋藤秀雄メモリアル基金賞受賞。

©T.Tairadate



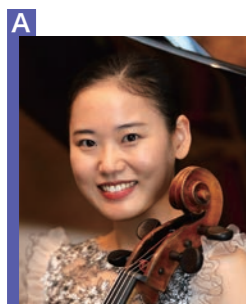
遠藤 真理(チェロ) Mari Endo
2006、2007年度奨学生
東京藝術大学を首席で卒業。第72回日本音楽コンクール第1位、2008年エンリコ・マイナルディ国際コンクール第2位。ジャン・ピエール・ヴァレーズ、小林研一郎、山田和樹など国際的に活躍する指揮者やブラハ交響楽団、ウィーン室内管弦楽団、ザルツブルク・ゾリステンらと共演するなど国内外で高い評価を得ている。ソリストとして活躍する一方、読売日本交響楽団のソロ・チェロ奏者も務める。CDは7枚リリース。テレビや映画演奏の他にNHK-FMラジオ「きらクラ!」のパーソナリティを8年間務めるなど幅広く活躍中。2009年齋藤秀雄メモリアル基金賞受賞。
遠藤真理オフィシャル・ウェブサイト <http://endomari.com>

©Yusuke Matsuyamaart



小野木 遼(チェロ) Ryo Onoki
学生フェスティバル2009出演者
北海道出身。東京藝術大学を経て、同大学院修士課程を修了。パシフィック・ミュージック・フェスティバル札幌2007に参加。第10回ビバホールチェロコンクールにて特別賞(井上賞)受賞。メルボルン国際アジア・パシフィック室内楽コンクール第2位。サントリーホールチェンバーミュージックアカデミー 1、2期生。2016年にリスト音楽院セミナーにて最優秀受講生に選出され、2017年にブダペスト春の音楽祭にてリサイタルを行う。札幌交響楽団と共演。NHK「ベストオブクラシック」[クラシック音楽館]などメディアにも多数出演。これまでに、チェロを桜庭茂樹、山崎伸子、河野文昭の各氏に師事。Cello Ensemble XTCメンバー。札幌交響楽団チェロ奏者。

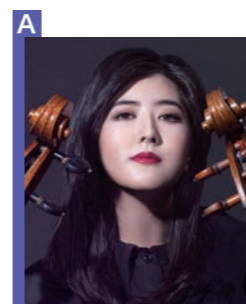
©Ayane Shindo



香月 麗(チェロ) Ulara Katsuki
2019、2020年度奨学生
2019、2022年度セミナー生
第86回日本音楽コンクール第1位、あわせて徳永賞、E.ナカミチ賞受賞。これまでに尾高忠明、梅田俊明、飯森範親各氏などの指揮者、東京フィルハーモニー交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、セントラル愛知交響楽団、群馬交響楽団などと共演。桐朋学園大学音楽学部ソリスト・ディプロマ・コース修了。ローザンヌ高等音楽院卒業。現在、パリ国立高等音楽院第2課程に在学中。チェロを故・久保田顕氏、倉田澄子氏、グザヴィエ・フィリップ氏、エマニュエル・ベルトラン氏に師事。バロック・チェロをブリュノ・コクセ氏に師事。

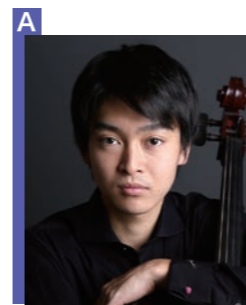
[ロームミュージックフレンドズ]

●奨学生 ●在外研究生(ロームミュージックファンデーション音楽在外研究生) ●セミナー生(ロームミュージックファンデーション音楽セミナーまたはロームミュージックセミナー受講生)
●学生フェスティバル出演者(京都・国際音楽学生フェスティバル出演者) ●小澤征爾音楽塾 塾生

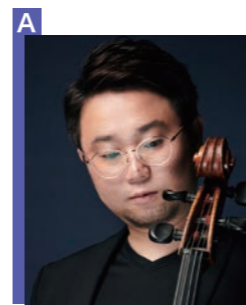


上村 文乃(チェロ) Ayano Kamimura
2015、2017年度奨学生
日本音楽コンクール第2位、トレヴィーゾ市国際音楽コンクール第1位、インディアナポリス国際バロックコンクール優勝など入賞歴多数。桐朋学園大学ソリスト・ディプロマ・コース卒業後ハンブルク音楽演劇大学とパーゼル音楽院に留学。リサイタルの他オーケストラ共演や室内楽の演奏も高く評価されている。国内外の多くの音楽祭への参加やパッサ・コレギウム・ジャパンのメンバーとしても活躍中。2022年2月ホテルオークラ音楽賞受賞。
公式HP <https://www.ayano-kamimura.com>

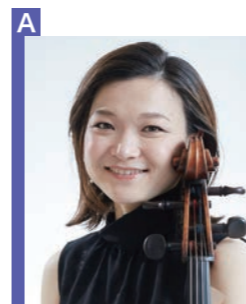
©Mina Kitano (HTJ)



佐山 裕樹(チェロ) Yuki Sayama
2021、2022年度奨学生 2019、2021、2022年度セミナー生
2017年小澤征爾音楽塾 塾生
第13回ビバホールチェロコンクール第1位。第70回全日本学生音楽コンクールチェロ部門大学の部東京大会及び全国大会第1位。クロンベルク・アカデミー(ドイツ)で行われたチェロマスタークラス2018にて、フランス・ヘルメルソン賞を受賞。第29回青山音楽賞新人賞。チェロを宮田豊、倉田澄子各氏に師事。室内楽を山崎伸子、練木繁夫各氏に師事。桐朋女子高等学校音楽科(男女共学)を経て、桐朋学園大学音楽学部チェロ科を首席で卒業。その後同大学ソリスト・ディプロマ・コース修了。
公式ホームページ <https://www.yuki-sayama.com>

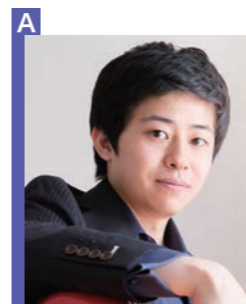


高木 慶太(チェロ) Keita Takagi
2007、2008、2009年度奨学生 学生フェスティバル2002出演者
2006年小澤征爾音楽塾 塾生
北海道生まれ。桐朋女子高等学校音楽科(男女共学)及び桐朋学園大学卒業。同大学院大学を経て2007年春ロームミュージックファンデーションの奨学金を得てベルリン芸術大学に留学。第74回日本音楽コンクール・チェロ部門第2位入賞。ドイツ、ベルリンで開催されたドミニコ・ガブリエリチェロコンクールにて3位入賞。クアルテット・エクスプローチェ、東京チェロアンサンブル、品川カルテットのメンバー。読売日本交響楽団チェロ奏者。



長谷川 彰子(チェロ) Akiko Hasegawa
2010、2011年度奨学生
学生フェスティバル2007出演者
岐阜県多治見市出身。愛知県立芸術大学を首席で卒業。2006年度日本演奏連盟主催新人演奏会に出演し、名古屋フィルハーモニー交響楽団と協演する。第77回日本音楽コンクール第3位。2010年9月よりロームミュージックファンデーションより奨学金を受け、ドイツへ留学し、フェリックス・メンデルスゾーン・バルトルディ音楽演劇大学ライブツィヒ修士課程を最高点で卒業。2013年東京藝術大学修士課程首席修了。これまでに中島顕、天野武子、河野文昭、山崎伸子、ペーター・ヘルの各氏に師事。九州交響楽団チェロ首席奏者を経て、現在新日本フィルハーモニー交響楽団チェロ首席奏者を務める。

©New Japan Philharmonic



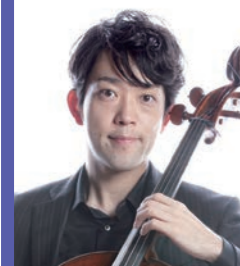
森田 啓介(チェロ) Keisuke Morita
2018、2019年度奨学生
2019、2021年度セミナー生
日本音楽コンクール第1位、ルーマニア国際音楽コンクール第1位、エマニュエル・フォイアマン国際コンクール特別賞、青山音楽賞新人賞、日本ショパン協会賞。東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、ベルギー・ワロニー王立室内管弦楽団、ハンガリー・サヴァリア交響楽団、メタモルフォーゼン・ベルリン室内管弦楽団等と共演。桐朋学園大学音楽学部ソリスト・ディプロマ・コースを首席で卒業。現在はドイツ・ザール音楽大学大学院に在籍。倉田澄子、宮田大、G.リヴィニウス、D.ゲリンガスの各氏に師事。関西ゆかりの楽師の家系で、箏奏者の東儀俊慰(としやす)を高祖父に持つ。使用楽器は宗次コレクションより貸与されたチェロ、C.A.Miremont ex-Fournier(1872年製)。

©Eiji Yamamoto

A リレー コンサート A B リレー コンサート B I オーケストラ コンサート I C リレー コンサート C II オーケストラ コンサート II

Profile

A



©Takashi Okamoto

横坂 源(チェロ) Gen Yokosaka

2008、2009年度奨学生

シュトゥットガルト国立音楽大学、並びにフライブルク国立音楽大学で学ぶ。全日本ビバホールチェロコンクール第1位(史上最年少)、全ドイツ学生音楽コンクール室内楽部門第1位、ミュンヘン国際音楽コンクール第2位。これまでに「出光音楽賞」、齋藤秀雄メモリアル基金賞、ホテルオークラ音楽賞を受賞。近年ではS.スヴィリドフ:チェロ協奏曲「つばき」の新作委嘱・世界初演をWürth Philharmonikerと、日本初演を東京交響楽団と行い、日本フィルハーモニー交響楽団とM.ルグラン:チェロ協奏曲の日本初演を果たした。2021年5月には、東京都交響楽団とP.デュサバン:チェロ協奏曲《アウトスケイプ》の日本初演を果たした。

A



渡邊 方子(チェロ) Masako Watanabe

2004、2005、2006年度奨学生

桐朋学園大学ソリスト・ディプロマ・コース修了。札幌ジュニアチェロコンクール最優秀賞、霧島国際音楽祭特別奨励賞を受賞。第66回日本音楽コンクール第2位受賞。日本演奏連盟主催によるデビューリサイタルを東京文化会館にて開催。2001年より奨学金を受けて米国イェール大学音楽院、およびインディアナ大学に在籍し、アルド・パリソとヤノシュ・シュタルケル各氏のもとで学んだ。帰国後2010年よりNHK交響楽団のチェロ奏者を務めている。マイスター・ミュージックよりデビューソロCD「オリエンタル」がリリースされている。

B



伊藤 駿(トランペット) Shun Ito

2012年小澤征爾音楽塾 塾生

大阪市出身。京都市立芸術大学音楽学部卒業。桐朋オーケストラ・アカデミー修了。同アカデミー在籍時に新日本フィルハーモニー交響楽団に首席奏者として入団し、2019年より東京都交響楽団トランペット奏者。第6回関西トランペット協会コンクール第1位。第30回ヤマハ管楽器新人演奏会出演。トランペットを宮村聡、早坂宏明、杉木峯夫、白水大介の各氏に、室内楽を具信一、若林義人の各氏に師事。

B



稲垣 路子(トランペット) Michiko Inagaki

2004年小澤征爾音楽塾 塾生

名古屋市出身。愛知県立芸術大学音楽学部卒業。桑原賞受賞。卒業演奏会、ヤマハ新人演奏会出演。第25回日本管打楽器コンクールトランペット部門第1位。第78回日本音楽コンクールトランペット部門第1位。岩谷賞、E.ナカミチ賞受賞。2010年リサイタル開催。2020年度京都市芸術新人賞受賞。竹本義明、津堅直弘、武内安幸の各氏に師事。これまでにソリストとして日本フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、中部フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団などと共演。日本センチュリー交響楽団を経て、現在京都市交響楽団副首席トランペット奏者。プラスアンサンプルロゼ、七吹神喇叭倶楽部、京都しんふおにえった各メンバー。大阪音楽大学、名古屋芸術大学、京都市立京都堀川音楽高等学校各非常勤講師。

B



坂本 敦(トランペット) Atsushi Sakamoto

2000年小澤征爾音楽塾 塾生

福岡県出身。2000年小澤征爾音楽塾オペラプロジェクトIに参加。2001年東京藝術大学卒業。同年第17回ヤマハ新人演奏会に出演。北九州市芸術家支援選考会にて最優秀賞を受賞。スカラシップを得てフィンランド国立シベリウス音楽院に留学。フィンランド放送交響楽団、ラハティ交響楽団にて契約団員を務める。2013年帰国し、名古屋フィルハーモニー交響楽団に入団。これまでにトランペットを、河辺のぶ子、本村孝二、杉木峯夫、P.Thibaud、P.Pirinen、A.Heinonen、J.F.Christiansenの各氏に師事。名古屋芸術大学、金城学院大学、菊里高校音楽科、各非常勤講師。

B



三澤 慶(トランペット) Kei Misawa

学生フェスティバル1994出演者

トランペットを津堅直弘氏に師事。東京音楽大学在学中、作曲を有馬礼子氏に師事。卒業後、オーケストラを中心に演奏活動を行う。また、作曲家として2006年度吹奏楽コンクール課題曲「海へ…吹奏楽の為に」を作曲。2010年、シエナWO作曲コンクール優勝。2012年、朝日作曲賞受賞(受賞曲「勇者のマズルカ」)などこれまでに管弦楽・吹奏楽を中心に600を超える作品を手がける。また、指揮者としてこれまでにブリッツ・フィルハーモニック・ウィンズ、テアトロ・ジューリオ・ショウワ・オーケストラ、東京室内管弦楽団などを指揮。現在、作曲家・東京室内管弦楽団トランペット奏者/教育プログラム・アドバイザー /指揮者。桜美林大学非常勤講師。

B



日橋 辰朗(ホルン) Tatsuo Nippashi

2007、2009年小澤征爾音楽塾 塾生

東京都出身。東京音楽大学卒業。第26回日本管打楽器コンクール第1位。及び特別大賞、審査員特別賞、東京都知事賞、文部科学大臣奨励賞を受賞。第80回日本音楽コンクール第1位。及び岩谷賞(聴衆賞)、E・ナカミチ賞を受賞。2007～2011年小澤征爾音楽塾オーケストラメンバー。木曾音楽祭、東京・春・音楽祭に出演。2019年読売日本交響楽団公演にてソリストを務める。マイスター・ミュージックよりCDをリリース。後藤照久、井手詩朗、水野信行の各氏に師事。日本フィルハーモニー交響楽団首席ホルン奏者を経て、現在、読売日本交響楽団首席ホルン奏者。紀尾井ホール室内管弦楽団メンバー。国立音楽大学、東京音楽大学非常勤講師。

B



今込 治(トロンボーン) Osamu Imagome

学生フェスティバル2003出演者

2004年東京藝術大学、2011年ロストック音楽演劇大学卒業。これまでにトロンボーンを栗田雅勝、オラフ・オット、ヨアヒム・エルザー、ジェイミー・ウィリアムスの各氏に師事。横浜シンフォニエッタ、トロンボーンクォルテット・クラール、大友良英スペシャルビッグバンド、大友良英ニュー・ジャズ・クインテット、山下洋輔スペシャルビッグバンドなどメンバー。上野学園大学非常勤講師。

B



上田 智美(トロンボーン) Tomomi Ueda

2006年小澤征爾音楽塾 塾生

富山県出身。2006年東京藝術大学卒業。2000年、第7回日本トロンボーンコンペティション奨励賞受賞。2005年、第3回東京音楽コンクール金管部門第2位(最高位)。2012年、第29回日本管打楽器コンクールトロンボーン部門第4位。2013年・2014年、イアン・パウズフィールド(元ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団)のマスタークラスを受講。現在、東京室内管弦楽団トロンボーン奏者。慶應義塾ワグネル・ソサイエティ・オーケストラ・トロンボーンパートトレーナー。新潟県立新潟中央高等学校音楽科非常勤講師。これまでにトロンボーンを故・秋山鴻市、神谷敏、稲場一朗、栗田雅勝、桑田晃の各氏に師事。

B



©T.Tairadate

風早 宏隆(トロンボーン) Hiroataka Kazehaya

2003年小澤征爾音楽塾 塾生

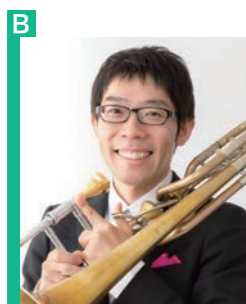
2000年第17回日本管打楽器コンクールトロンボーン部門第1位。飯森範親指揮、東京交響楽団とK.Serockiのトロンボーン協奏曲を協演。2001年京都市立芸術大学を首席で卒業。J.Alessi氏のトロンボーンセミナーに合格し、受講生として参加、受講生リサイタルに出演。2003年P.Crestonのファンタジーを京都市交響楽団と協演。2004～2007年小澤征爾指揮、東京のオペラの森に出演。2011年3月関西フィルハーモニー管弦楽団第227回定期演奏会にて吉松隆作曲トロンボーン協奏曲『オリオンマシーン』を協演し、音楽の友の批評にて国際級の名手との絶賛を受ける。2011年7月大阪ザ・フェニックスホールのコンサートシリーズ『ティータイムコンサート』でリサイタルを開催。これまでにトロンボーンを具信一、山本浩一郎、J.Alessiの各氏に師事。

[ロームミュージックフレンドズ]

●奨学生 ●在外研究生(ロームミュージックファンデーション音楽在外研究生) ●セミナー生(ロームミュージックファンデーション音楽セミナーまたはロームミュージックセミナー受講生) ●学生フェスティバル出演者(京都・国際音楽学生フェスティバル出演者) ●小澤征爾音楽塾 塾生

A リレー コンサート A B リレー コンサート B I オーケストラ コンサート I C リレー コンサート C II オーケストラ コンサート II

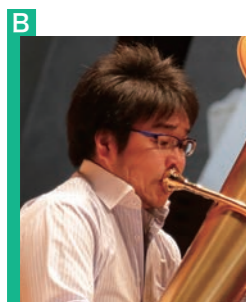
Profile



藤井 良太(バス・トロンボーン) Ryota Fujii

学生フェスティバル2001 出演者
2002、2003 小澤征爾音楽塾 塾生

富山県出身。東京藝術大学音楽学部器楽科卒業。小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトIII・IV、サイトウ・キネン・オーケストラ、東京のオペラの森に参加。2010年、第6回済州プラスコンペティション(韓国)バス・トロンボーン部門第3位。これまでにトロンボーンを故・秋山鴻市、栗田雅勝、ハンス・シュトレッカー、山本浩一郎の各氏に師事。現在、東京交響楽団バス・トロンボーン奏者。ミュージックスクール「ダ・カーポ」講師。



宮西 純(チューバ) Jun Miyanishi

学生フェスティバル2004 出演者

千葉県出身。東京音楽大学を特待生として卒業。2009年台湾国家交響楽団に入団。第30回日本管打楽器コンクールチューバ部門第1位。特別賞受賞。2014年アジア人として初めてITEC国際コンペティション優勝。ヴェルサイユ音楽院最高課程を最優秀で修了。パリ管弦楽団やミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団等に客演しヨーロッパで研鑽を積む。現在、神奈川フィルハーモニー管弦楽団契約団員。ソリストとしても国内外多方面で活動する。新日本フィルハーモニー交響楽団、千葉交響楽団、マカオウインドオーケストラ等と共演。NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」出演。また吹奏楽指導も積極的に行い、バンドジャーナル誌上レッスンも担当。

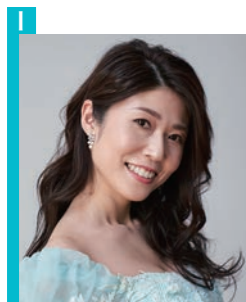


垣内 悠希(指揮) Yuki Kakiuchi

2008、2009、2010年度奨学生 2007年度セミナー生
2012.10～2013.9在外研究生

2011年ブザンソン国際指揮者コンクール優勝。ウィーンを拠点に、フランス国立ボルドー・アキテーヌ管弦楽団、イル・ド・フランス国立管弦楽団、ブリュッセル・フィルハーモニック、ミュンスター交響楽団、サンクトペテルブルク交響楽団、ウィーン室内管弦楽団、チリ交響楽団、深セン交響楽団等欧米アジア、そして日本国内各地のオーケストラに客演を重ねている。東京生まれ。6歳よりピアノを、14歳より指揮の勉強を始める。東京藝術大学、ウィーン国立音楽大学に学び、小澤征爾、佐藤功太郎、レオポルト・ハーガー、ヨルマ・パヌラ、ジャンルイジ・ジェルメッティ、エルヴィン・アッツェル、イザーク・カラブチェフスキー、湯浅勇治の各氏に師事。2016年より札幌交響楽団指揮者を3年間務めた。

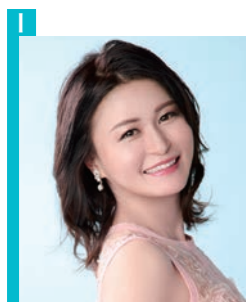
©Jean Philippe Raibaud



高橋 維(ソプラノ/モーツァルト:スザンナ) Yui Takahashi

2020、2021年度奨学生

東京学芸大学大学院及び東京藝術大学大学院修了。第27回五島記念文化賞オペラ新人賞受賞を機にウィーンで研鑽を積む。オペラでは『魔笛』夜の女王、『フィガロの結婚』スザンナ、『ナクソス島のアリアドネ』ツェルピネッタ、『ジュリオ・チェザレ』クレオパトラ、『天国と地獄』ユリディスなど、さまざまなプロダクションで出演。近年ではタイトルロールを演じた日生劇場『ルチア』で絶賛されたほか、佐渡裕プロデュース『メリー・ウィドウ』ヴァランシエンヌ、東京二期会『こうもり』アデーレを演じ聴衆を魅了した。NHK「ニューイヤーオペラコンサート」「ららら♪クラシック」、テレビ朝日「題名のない音楽会」等のメディアにも登場し注目を集めている。二期会会員。



鷺尾 麻衣(ソプラノ/モーツァルト:伯爵夫人) Mai Washio

2011.10～2013.9在外研究生

東京藝術大学卒業。新国立劇場オペラ研修所修了。文化庁派遣芸術家研修員及びローム特別研究生として、イタリア・ニューヨーク・ロンドンで研鑽を積む。ハンターカレッジ『安寿と厨子王』ではニューヨークタイムズ紙に絶賛された他、カーネギーホール・オーケストラコンサートソリストに抜擢される。セントアンドリュース国際コンクール優勝など受賞歴多数。その他にも、新国立劇場『ドン・ジョヴァンニ』『魔笛』、小澤征爾音楽塾『こうもり』、東京芸術劇場オペラ『ドン・ジョヴァンニ』、佐渡裕指揮サントリー 1万人の第九ソプラノソロなどに出演。ファーストアルバム『MAI WORLD』をリリース。日本大学芸術学部非常勤講師、平成音楽大学講師。二期会会員。

©深谷義宣auraY2



富岡 明子(メゾ・ソプラノ/ロッシェニ:ロジーナ) Akiko Tomioka

2006、2007年度奨学生
2003、2005年小澤征爾音楽塾 塾生

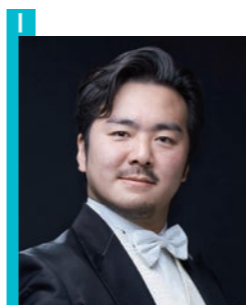
東京藝術大学卒業。同大学院を修了しイタリアへ留学。パルマ音楽院を首席で学位取得。第80回日本音楽コンクール第2位など国内外で多数上位入賞。イタリアでは、パルマ歌劇場『試金石』クラリーチェ、ペーザロ・ロッシェニフェスティバル『ランスへの旅』マッダレーナ等に出演。国内では、二期会『カヴァレリア・ルスティカーナ』ローラ、『イル・トロヴァトーレ』イネス、グランドオペラ共同制作『カルメン』メルセデス、藤原歌劇団『ランスへの旅』メリベア夫人、日生劇場『セビリアの理髪師』ロジーナなど多くのオペラに出演。コンサートにおいても「第九」をはじめ、モーツァルト「レクイエム」、マーラー「千人の交響曲」等で活躍。二期会会員。



高島 伸吾(テノール/ロッシェニ:アルマヴィーヴァ伯爵) Shingo Takabatake

2012、2014～2018年小澤征爾音楽塾 塾生

武蔵野音楽大学卒業、同大学院修了。2018年イタリア・パルマにて行われたシルクロード国際音楽コンクール第2位。第44回イタリア声楽コンクール金賞受賞。2012年小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトXIより関わり、XIIIではラヴェル『子どもと魔法』カヴァーキャスト学校公演において小澤征爾指揮のもと2公演に出演。その他、新国立劇場、日生劇場、セイジ・オザワ松本フェスティバル、2015年パシフィック・ミュージック・フェスティバル札幌(PMF)などに携わり、数多くのオペラに出演している。2023年11月にはNISSAY OPERA 2023「マクベス」にマルコム役で出演予定。



又吉 秀樹(バリトン/ロッシェニ:フィガロ) Hideki Matayoshi

2017年度奨学生
2006年小澤征爾音楽塾 塾生

東京藝術大学卒業。同大学院首席修了。第40回イタリア声楽コンクール優勝等受賞歴多数。イタリア、オーストリアで研鑽を積む。オペラでは、2014年二期会『イドメネオ』タイトルロールに抜擢され、輝かしい美声と確かな音楽性で高い評価を得る。その後も二期会『こうもり』アイゼンシュタイン、同『天国と地獄』オルフェ、新国立劇場『ルチア』などにも出演。また、コンサートでもベートーヴェン「第九」、ヘンデル「メサイア」などのソリストとして活躍する一方で2020年には「ディズニー・オン・クラシック」に出演するなど、多方面で活躍している。2022年10月よりバリトンに声種転向。転向後の11月には二期会『天国と地獄』ジュピターにて出演した。二期会会員。

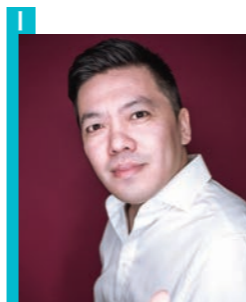
©T.Tairadate



近藤 圭(バリトン/ロッシェニ:バルトロ) Kei Kondo

2012、2013年度奨学生
2003、2004、2012、2015、2016、2017年小澤征爾音楽塾 塾生

国立音楽大学卒業、同大学院首席修了。新国立劇場オペラ研修所修了後、渡独。ドイツを拠点として、オルフ「カルミナ・ブラーナ」等の他、マーラー没後100年を記念した演奏会に「さすらう若人の歌」で出演。国内では、二期会『ナクソス島のアリアドネ』ハルレキ、『タンホイザー』ピーテロルス、新国立劇場『魔笛』パパゲーノ、日生劇場『リア』フランス国王、『ラ・ボエーム』ショナール、東京芸術劇場『ドン・ジョヴァンニ』マゼット、ランドオペラ共同制作『カルメン』モラレス等の他、新国立劇場『夏の夜の夢』ディミトリアスで急遽出演、好評を博した。また、ヘンデル「メサイア」等のコンサート・ソリストとしても活躍している。二期会会員。



木村 善明(バス・バリトン/モーツァルト:フィガロ) Yoshiaki Kimura

2014年度奨学生

東京藝術大学及び大学院修了。博士課程においてカール・レーヴェのバラード研究で博士号(音楽)取得。在学時、長野羊奈子賞、毛利準賞、三菱地所賞を各々受賞。ドイツ、フランス、ベルギーで研鑽を積み、ドイツ国家演奏家資格取得。独・バンベルク歌劇場夏の音楽祭「フィガロの結婚」のオーディションで380人の中から選ばれ、主役フィガロ役でヨーロッパデビュー。友愛ドイツ歌曲コンクール優勝、五島記念文化賞オペラ新人賞、岡山芸術文化賞グランプリ、福武文化奨励賞、マルセン文化賞、倉敷市文化栄誉章、松方ホール音楽賞を各々受賞。現在、独・ビーレフェルト歌劇場と専属歌手契約を結び、ソリストとして活躍中。ドイツ在住。

[ロームミュージックフレンズ]

●奨学生 ●在外研究生(ロームミュージックファンデーション音楽在外研究生) ●セミナー生(ロームミュージックファンデーション音楽セミナーまたはロームミュージックセミナー受講生)
●学生フェスティバル出演者(京都・国際音楽学生フェスティバル出演者) ●小澤征爾音楽塾 塾生

A リレー コンサート A B リレー コンサート B I オーケストラ コンサート I C リレー コンサート C II オーケストラ コンサート II



青山 貴 (バリトン/モーツァルト:アルマヴィーヴァ伯爵) Takashi Aoyama
2006.10~2008.9在外研究生 2000、2007、2008年小澤征爾音楽塾 塾生
東京藝術大学卒業、同大学院修了。新国立劇場オペラ研修所修了後、渡伊。オペラでは、二期会『ナブッコ』タイトルロール
びわ湖ホール『ラインの黄金』及び『ワルキューレ』ヴォータン、『ジークフリート』さすらい人等の他、近年も、新制作で話題を呼んだ、
新国立劇場『ニュルンベルクのマイスタージンガー』フリッツ・コートナー、新国立劇場『タンホイザー』ピーテロルフ、びわ湖
ホール『ファルスタッフ』タイトルロール、『ニュルンベルクのマイスタージンガー』ハンス・ザックス等出演し高い評価を得るなど、
その地位を確かなものとしている。またコンサートでも、「第九」をはじめ、ハイドン「天地創造」、ブラームス「ドイツ・レクイエム」
等ソリストとしても活躍。二期会会員。



泉原 隆志 (京都市交響楽団コンサートマスター) Takashi Izuhara
2003年度奨学生
2002年小澤征爾音楽塾 塾生
桐朋学園大学ソリスト・ディプロマ・コース修了、ディプロム取得。その後、ブリュッセル王立音楽院に留学。ローム ミュージック
ファンデーション、文化庁芸術家在外研修員として研鑽を重ね、ハンブルグ国立音楽大学大学院を首席で卒業しディプロム
取得。これまでにアンナ・ベレック、原田幸一郎、イゴール・オイストラフ、ピョートル・モンティアヌの各氏に師事。東京交響楽団、
読売日本交響楽団などの客演コンサートマスター、サイトウ・キネン・オーケストラのメンバーを務める。現在は京都市交響楽団
のコンサートマスター、京都市立芸術大学非常勤講師。2012年京都市芸術新人賞、2019年京都府文化賞奨励賞を受賞。



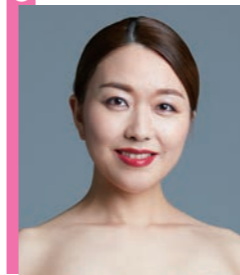
朝岡 聡 (ナビゲーター) Satoshi Asaoka
横浜市生まれ。慶應義塾大学卒業。テレビ朝日にアナウンサーとして入社し、各種スポーツ中継の他「ニュースステーション」
初代スポーツキャスターとして活躍。1995年フリーとなってからはテレビ・ラジオ・CMの他、クラシックコンサートの企画構成
や司会でもコンサート・ソムリエとして活動のフィールドを広げている。とくにオペラと古楽ではユニークな評論が注目を集めて
おり、クラシックの語り部としても幅広く活動中。興味深い内容を軽妙な語り口で展開する独自の世界は、新しい芸術ファン
のすそ野を広げる司会者として注目と信頼を集めている。日本ロッシーニ協会副会長。東京藝術大学客員教授。



磯 絵里子 (ヴァイオリン) Eriko Iso
2000年度奨学生 1997、1998年度セミナー生
桐朋学園大学卒業後、ブリュッセル王立音楽院に留学し首席修了。マリア・カナルス国際コンクール他多数入賞。ソリストとして
オーケストラとの共演や、宮崎国際音楽祭へは毎年参加、アウトリーチ活動にも取り組むなど多彩な演奏活動を展開して
いる。2010年よりFMヨコハマ「磯絵里子のSEASIDE CLASSIC」のパーソナリティを務め、確かな技量に基づいたヨーロッ
パ仕込みの洗練された感性には定評があり、ソロ活動に加え室内楽(デュオ・プリマ、アンサンブルφ、椿三重奏団、デュオ・
パッシオーネ)でも活躍中。「こどものためのクラシック」登録アーティスト(ソニー音楽財団)。現在11枚のCDが好評発売中。
2020年2月に発売された椿三重奏団のCDは「レコード芸術」誌特選盤に選出された。洗足学園音楽大学講師。
オフィシャル・ホームページ <https://erikoiso.jp/>



神谷 未穂 (ヴァイオリン) Miho Kamiya
2001、2002年度奨学生
桐朋学園大学、ハノーファー音楽大学をともに首席卒業。さらにパリ国立高等音楽院最高課程を修了。北九州国際音楽祭
TOTOクワモプライズ室内楽(デュオ)第1位、ティボー・ヴァルガ国際ヴァイオリンコンクールにてバガニーニ賞、オーストリア
室内楽音楽祭賞を受賞。国内外のオーケストラに度々ソリストとして招かれ共演を重ねる。一般財団法人地域創造の公共
ホール音楽活性化事業協力アーティストとして、地域に密着した音楽活動を展開し高く評価されている。平成23年度宮城県
芸術選奨受賞。現在、仙台フィルハーモニー管弦楽団、横浜シンフォニエッタコンサートマスター。千葉交響楽団特任コン
サートマスター、宮城学院女子大学特命教授。
神谷未穂 オフィシャル・サイト <https://www.mihokamiya.net/blog>



岡田 奏 (ピアノ) Kana Okada
2010、2011、2012年度奨学生
15歳で渡仏し、パリ国立高等音楽院でF.ブラレイに師事。プーランク国際ピアノ・コンクールおよびピアノ・キャンパス国際コン
クール第1位、エリザベート王妃国際音楽コンクールファイナリスト。ベルギー国立管弦楽団、ベネズエラ・シモン・ボリバル交
響楽団、読売日本交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、札幌交響楽
団をはじめ日本全国のオーケストラと、M. パーメルト、S. ヴァイグレ、M. オールソップ、P. メイエ、小林研一郎、尾高忠明、広上
淳一、大友直人、山田和樹等の指揮者と共演。NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」名曲アルバム、NHK-BSプレミアム「クラシック
倶楽部」等に出演。2022年、セカンドソロアルバム「Transformer」をリリース。



佐々木 蔵之介 (語り) Kuranosuke Sasaki
1968年生まれ、京都府出身。2000年NHK連続テレビ小説「オードリー」で注目されて以降、数多くの話題作に出演。演劇ユ
ニット、Team 申を主宰、2021年「君子無朋(くんしともなし)」を上演。最近の出演作は、舞台「守銭奴ザ・マネークレイジー」
(2022年・2023年)、ドラマ「クロサギ」、映画「嘘八百 なにわ夢の陣」(2023年公開)、「シャイロックの子供たち」(2023年公
開)、がある。2023年度京都府文化賞功労賞受賞。



京都市交響楽団 (管弦楽) City of Kyoto Symphony Orchestra
1956年に創立し、日本で唯一、自治体が設置し、運営に責任を持つオーケストラ。2015年「第46回サントリー
音楽賞」受賞。同年6月ヨーロッパ公演で成功を収め、2017年「第37回音楽クリティック・クラブ賞」本賞等
受賞。2020年4月、第13代常任指揮者兼芸術顧問に広上淳一(2022年3月まで)、首席客演指揮者にジョン・
アクセルロッド(2023年3月まで)が就任。2008年から2022年3月まで14年間にわたり常任指揮者を務めた
広上淳一のもとでは、数々の名演を生み出して黄金時代を築き上げた。2023年4月からは第14代常任指揮
者に沖澤のどかが就任し、文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」として更なる前進
を図っている。


[ローム ミュージック フレンズ]
●奨学生 ●在外研究生(ローム ミュージック ファンデーション 音楽在外研究生) ●セミナー生(ローム ミュージック ファンデーション音楽セミナーまたはローム ミュージック セミナー受講生)
●学生フェスティバル出演者(京都・国際音楽学生フェスティバル出演者) ●小澤征爾音楽塾 塾生

Live streaming **メインホール・サウスホール全公演有料配信のお知らせ**

クラシック専門ストーリーミングサービス カーテンコールにて、当日会場での各公演開催と同時にライブ配信及び、
期間限定のアーカイブ配信も実施します。

オンラインコンサート視聴方法
「カーテンコール」で検索、またはQRコードから「カーテンコール」TOPページにアクセスし、会員登録後、該当する公演のオンライン
コンサートチケットをご購入ください。
※その他購入方法、視聴方法、視聴環境の詳細については「カーテンコール」のサイト内にてご確認ください。

アーカイブ配信期間: 2023年4月24日(月) 15:00~2023年4月30日(日) 23:59



ローム・スクエアコンサート

4/22
[土]

12:15開演(12:45頃終演予定) 京都両洋高等学校 吹奏楽部

私たちは、京都両洋高等学校吹奏楽部です！私たち京都両洋高等学校吹奏楽部は『吹奏楽・マーチング・日本舞踊』など、生徒一人一人が輝けるステージを用意しています。年間の活動は、「吹奏楽コンクール」「マーチングコンテスト」「定期演奏会」「地域での依頼演奏」「ジョイントコンサート」など、さまざまな活動を行っており、多数の本番に出演しています。

E.E.バグレー(鈴木 英史 編)/National Emblem
桑田佳祐/サザンオールスターズ メドレー ほか



15:15開演(15:45頃終演予定) 滝川第二高等学校 吹奏楽部

みなさまこんにちは！滝川第二高校吹奏楽部です。私たちの学校は神戸市西区の西端に位置し、南には明石海峡、北東には六甲山系を臨む豊かな自然と広大な敷地の中にあります。吹奏楽部の活動は、年1回の定期演奏会を始め、コンクールや依頼演奏など様々な演奏の機会を頂いており、常に「感謝の気持ちを大切に」をモットーとして、演奏できる喜びと、私たちを支えてくださる全ての方々に感謝し、情熱を持って日々努力しております。昨年度は夏の吹奏楽コンクール兵庫県大会最優秀、関西大会金賞を受賞し、マーチングでは16回目の全国大会出場、5大会連続11回目の金賞を受賞しました。本日は、場所の関係で本格的なマーチングは難しいですが、精一杯頑張りますのでどうぞお楽しみください。

B.スメタナ/歌劇「リブシェ」ファンファーレ
J.ヴァン＝デル＝ロースト/コンテストマーチ「マーキュリー」 ほか



4/23
[日]

13:15開演(13:45頃終演予定) 宇治市立東宇治中学校 吹奏楽部

みなさん、こんにちは！！東宇治中学校吹奏楽部です。私たちは吹奏楽とマーチングの2つを中心に活動しています。様々なジャンルの音楽が演奏できる吹奏楽や、かっこいいマーチングの演技が大好きです。音楽を通して、たくさんの人と楽しい時間が過ごせる本番を目指し、毎日練習に励んでいます。

B.ジュトラ/インカンテーション
M.マンシーナ/ブレーンズ ハイライト
M.マリナンジェリ/ジャンボリミッキー！ ほか



16:10開演(16:40頃終演予定) 箕面自由学園高等学校 吹奏楽部

箕面自由学園高等学校吹奏楽部 GOLDEN BEARSです。私たちは「自由の大地に響く心 響きあう心」をモットーに、『NO LIMIT! 笑う門にはハッピーカムカム』を今年のスローガンに掲げ練習しています。これまで、全日本マーチングコンテストに9回出場し、昨年度は6回目の金賞を受賞することができました。青春120%の演奏演技を最後までお楽しみください！

P.スパーク/ The Bandwagon
B.チェイス/ Get it on! ほか



〈無料公演〉※天候によっては中止の場合がございます。※都合により出演者、曲目が変更になる場合がございます。

公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーションは
音楽文化の普及と発展のためにさまざまな活動をしています。

音楽文化の発展

事業の中で関わった音楽家「ローム ミュージック フレンズ」は、1991年設立時よりこれまでで4,837人になります。

奨学生	525人	国内外の教育機関で音楽を学ぶ学生への奨学金の給付。
音楽在外研究生	64人	音楽家の一層の研鑽を図るための在外研究を援助。
音楽セミナー受講生	333人	プロの音楽家の育成を目的としたセミナー。現在までに弦楽器クラス、管楽器クラス、指揮者クラスを実施。
ローム ミュージック セミナー受講生	8人	世界で活躍するローム ミュージック フレンズによる音楽家育成セミナー。
京都・国際音楽学生フェスティバル出演者	2,635人	国際交流と音楽家の育成を目的として、世界を代表する音楽学校から音楽学生を京都に招いて開催するフェスティバル。
小澤征爾音楽塾 塾生	1,530人	オペラやオーケストラを通じて若手音楽家を育成するプロジェクト。

※複数の事業で関わった音楽家がいるため、各事業の人数合計とは一致しません。(2023年3月時点)

奨学援助

認定式・報告会を実施し、給付中また給付後すぐの奨学生によるスカラシップ コンサートも開催しています。



©佐々木卓男

ローム ミュージック ファンデーション 音楽セミナー



ローム ミュージック セミナー



©佐々木卓男

小澤征爾音楽塾

若手音楽家の育成を目的とした小澤征爾音楽塾の各種公演を共催しています。また、小学生を対象とした「子どものためのオペラ」を共催しています。

京都・国際音楽学生フェスティバル



©佐々木卓男



©大塚道治

音楽文化の普及

新国立劇場 高校生のための オペラ鑑賞教室への助成



©寺司正彦、提供 新国立劇場

日本フィル 夏休みコンサートへの助成



映像配信コンサート (Kyoto×Classics)

京都の名所からローム ミュージック フレンズが音楽をお届けしています。



ローム ミュージック チャンネルの視聴はこちら

